

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-106145

(P2017-106145A)

(43) 公開日 平成29年6月15日(2017.6.15)

(51) Int.Cl.

A41D 1/06 (2006.01)

F I

A41D 1/06 503Z

A41D 1/06 501D

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2015-242456 (P2015-242456)
 (22) 出願日 平成27年12月11日 (2015.12.11)

(71) 出願人 515345687
 tomie's grand march
 e 株式会社
 東京都目黒区五本木一丁目30番3号
 (74) 代理人 100078721
 弁理士 石田 喜樹
 (74) 代理人 100124420
 弁理士 園田 清隆
 (72) 発明者 小齊平 恵
 東京都目黒区五本木一丁目30番3号 t
 omie's grand marche
 株式会社内

(54) 【発明の名称】 美容パンツ

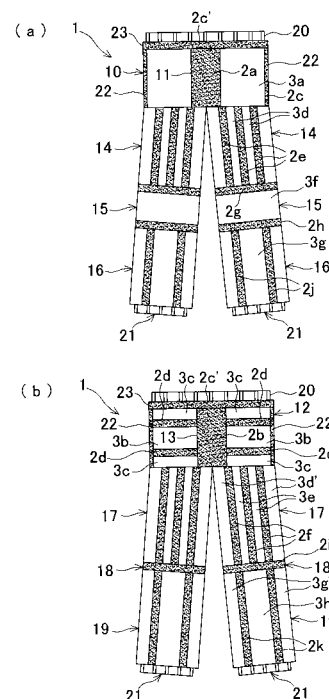
(57) 【要約】

【課題】 動作が行い易い状態を保持しながら身体への追従性が高く、また動作による破断が防止される美容パンツを提供する。

【解決手段】

美容パンツ1は、大腿部を被覆する部分14には、長形の低密度ポリエチレンシート3d、3dと長形の高密度ポリエチレンシート2e、2e・・・とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置され、大腿部を被覆する部分17には、長形の低密度ポリエチレンシート3e、3eと長形の高密度ポリエチレンシート2f、2f・・・とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

比重が 0.910 以上 0.920 未満である低密度ポリエチレンシートと、比重が 0.920 以上 0.960 以下である高密度ポリエチレンシートとを含んでおり、

大腿部を被覆する部分には、長形の前記低密度ポリエチレンシートと長形の前記高密度ポリエチレンシートとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることを特徴とする美容パンツ。

【請求項 2】

更に、下腿部を被覆する部分には、長形の前記高密度ポリエチレンシート及び長形の前記低密度ポリエチレンシートの長手方向とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の美容パンツ。

10

【請求項 3】

ウェストラインを被覆する部分及び踝部を被覆する部分には、緊締部が形成されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の美容パンツ。

【請求項 4】

前記大腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1 cm 以上 3 cm 以下であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の美容パンツ。

【請求項 5】

前記下腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1 cm 以上 3 cm 以下であることを特徴とする請求項 2 乃至 4 の何れかに記載の美容パンツ。

20

【請求項 6】

内側には、オイルが塗布されることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れかに記載の美容パンツ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、身体に着用する美容パンツに関するものである。

【背景技術】

30

【0002】

従来より、身体に着用して使用するものとしては、フィルムを巻き付けるボディパックや、開口部がゴム紐等により伸縮自在になっており、かつ脚挿入部の裾部が封止され袋状になっているエステバックウェアが知られている（特許文献 1）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2003-235644 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

40

【0004】

しかしながら、このようなボディパックでは、身体に合わせて巻き付けることで、身体の形状に沿い得る性質である追従性が極めて高くなっているが、フィルムの巻き付けや取り外し作業が面倒であり、一旦フィルムを巻き付けると手足が拘束されて動きにくくなっていた。

これに対し、エステバックウェアでは、胴挿入部と脚挿入部とが薄い連続する合成樹脂フィルムにより製作されていることから、着用した状態で動作を行うことは可能であるものの、各部毎に伸縮しないため、身体への追従性が低く、また合成樹脂フィルムが破断する可能性があった。

【0005】

50

そこで、本発明の目的は、上記従来のボディパックやエステパックウェアの課題を解消し、動作が行い易い状態を保持しながら身体への追従性が高く、また動作によって破断しにくい美容パンツを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明のうち、請求項1に記載された発明は、比重が0.910以上0.920未満である低密度ポリエチレンシートと、比重が0.920以上0.960以下である高密度ポリエチレンシートとを含んでおり、

大腿部を被覆する部分には、長形の前記低密度ポリエチレンシートと長形の前記高密度ポリエチレンシートとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることを特徴とするものである。

10

【0007】

ここで、本発明における美容パンツとしては、ウェストラインから下腿部までを被覆する長ズボン状のものに限らず、ウェストラインから大腿部までを被覆する半ズボン状のものも含まれる。

【0008】

請求項2に記載された発明は、請求項1に記載の発明に加え、更に、下腿部を被覆する部分には、長形の前記高密度ポリエチレンシートと長形の前記低密度ポリエチレンシートとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることを特徴とするものである。

20

【0009】

請求項3に記載された発明は、請求項1又は2に記載の発明に加え、ウェストラインを被覆する部分及び踝部を被覆する部分には、緊締部が形成されることを特徴とするものである。

【0010】

請求項4に記載された発明は、請求項1乃至3の何れかに記載の発明に加え、前記大腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1cm以上3cm以下であることを特徴とするものである。

【0011】

請求項5に記載された発明は、請求項2乃至4の何れかに記載の発明に加え、前記下腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1cm以上3cm以下であることを特徴とするものである。

30

【0012】

請求項6に記載された発明は、請求項1乃至5の何れかに記載の発明に加え、内側には、オイルが塗布されることを特徴とするものである。

【発明の効果】

【0013】

請求項1又は2に記載された発明は、動作が行い易い状態を保持しながら身体への追従性が高く、また動作による破断が防止される。更に、構造がシンプルであることから製作が容易であり、安価にすることが可能である。

40

【0014】

請求項3に記載された発明は、美容パンツ内で密封性の高い状態を保持することが可能であり、入浴後等に装着すれば、美容パンツ内が湿潤して装着者の新陳代謝をあげることも可能である。

【0015】

請求項4又は5に記載された発明は、各シートが伸縮しても破断しにくくなり、身体の動作に対して追従性が高い状態を保持することが可能である。

【0016】

請求項6に記載された発明は、美容パンツを装着した状態のままで自由な動作を行い、皮膚からオイルを吸収させることが可能となる。また、使用中はオイルが外部に漏れにく

50

く安全であり、使用後の処理も簡単で衛生的である。他にも、装着するだけでオイルが下半身に塗られることとなる。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図1】 (a) は美容パンツ表側の構成を示し、(b) は美容パンツ裏側の構成を示す説明図である。

【図2】 美容パンツを示す説明図である。

【図3】 (a) は、図2のA-A断面を示し、(b) は図2のB-B断面を、(c) は図2のC-C断面を、(d) は図2のD-D断面を、(e) は図2のE-E断面を示す説明図である。

10

【発明を実施するための形態】

【0018】

以下、本発明の美容パンツの一実施形態について、図面に基づいて詳細に説明する。

図1は、美容パンツの構成を示す説明図である。図2・3は、美容パンツの各部分を示す説明図である。

【0019】

先ず初めに、図1(a)(b)に示すように、美容パンツ1は、長尺の高密度ポリエチレンシート2、2・・及び低密度ポリエチレンシート3、3・・が組み合わされ、身体に追従した状態で着用され得るものである。

このうち、高密度ポリエチレンシート2は、ポリエチレンの比重が0.920以上0.960以下のものを使用し、また好ましくは厚みが0.012mm以上0.025mm以下のものを使用する。そして、高密度ポリエチレンシート2は、エチレンを重合して製造されるもので、分子構造においては、分岐の少ない直鎖状で柔軟性が低く、引張り強度が高いものの、縦方向(Y軸)への方向性が強いことから縦方向の引裂き強度が横方向に比べて低い特性を備えている。

20

一方、低密度ポリエチレンシート3は、ポリエチレンの比重が0.910以上0.920未満のものを使用し、また好ましくは厚みが0.015mm以上0.025mm以下のものを使用する。低密度ポリエチレンシート3は、エチレンをラジカル重合して製造されるものであり、柔軟性に富み、引張り強度は高密度ポリエチレンシート2に劣るものの、引裂き強度は高密度ポリエチレンシート2より高い特性を備えている。高密度ポリエチレンシート2と低密度ポリエチレンシート3との接合は、端部同士を重ね合わせた状態で熱を加え、融着させることで行われる。

30

【0020】

そして、図1(a)に示すように、この美容パンツ1は、表側において、腹部を被覆する部分10と、大腿部を被覆する部分14と、下腿部を被覆する部分16とを有している。

このうち、図2のA-A断面である図3(a)が示すように、腹部を被覆する部分10は、表面中央に配され股間部を被覆する部分11において、幅が8cm以上12cm以下の高密度ポリエチレンシート2aを有している。更に、腹部を被覆する部分10は、その左右の端部を被覆する部分22、22において、幅が1cm以上3cm以下の高密度ポリエチレンシート2c、2cを有している。また、股間部を被覆する部分11と端部を被覆する部分22、22との間には低密度ポリエチレンシート3a、3aが配されている。

40

【0021】

一方、図1(b)に示すように、美容パンツ1は、裏側において、腰部を被覆する部分12と、大腿部を被覆する部分17と、下腿部を被覆する部分19とを有している。このうち、腰部を被覆する部分12の中央に配された臀部を被覆する部分13には、幅が8cm以上12cm以下の高密度ポリエチレンシート2bが配されており、臀部を被覆する部分13と左右の端部を被覆する部分22、22との間には低密度ポリエチレンシート3b、3bが配されている。

他にも、腹部を被覆する部分10の上端と、腰部を被覆する部分12の上端とに亘って

50

、幅が1 cm以上3 cm以下の高密度ポリエチレンシート2 c' が外周に亘って配されており、ウェストライン2 3が形成されている。更に、ウェストラインを被覆する部分2 3の上方には、ウェスト部分をゴムで締め付ける緊締部2 0が形成されている。

【0022】

次に、図2のB-B断面である図3(b)が示すように、美容パンツ1の表側における大腿部を被覆する部分1 4には、2本の長形の低密度ポリエチレンシート3 d、3 d' と、幅が1 cm以上3 cm以下で長形の3本の高密度ポリエチレンシート2 e、2 e' ・ ・ とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されている。ここで、高密度ポリエチレンシート2 eは、縦方向(Y軸)への方向性が強いことで縦方向の引裂き強度が横方向に比べて低い特性を備えており、低密度ポリエチレンシート3 dよりも引張り強度が高くなることから、高密度ポリエチレンシート2 eの繊維の横方向(X軸)が長手方向と同一方向になっている。

10

【0023】

一方、美容パンツ1の裏側において、大腿部を被覆する部分1 7には、幅が1 cm以上3 cm以下で長形の3本の高密度ポリエチレンシート2 f、2 f' ・ ・ と長形の2本の低密度ポリエチレンシート3 e、3 e' とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されている。ここでも、高密度ポリエチレンシート2 eと同様に、高密度ポリエチレンシート2 fの繊維の横方向が長手方向と同一方向になっている。外側の高密度ポリエチレンシート2 eと高密度ポリエチレンシート2 fとの間には、低密度ポリエチレンシート3 d' が配されている。また、内側の高密度ポリエチレンシート2 eと高密度ポリエチレンシート2 fとの間には、低密度ポリエチレンシート3 d' が配されている。これら低密度ポリエチレンシート3 d'、3 d' は、表側の部分より、裏側の部分が長い形状である。

20

【0024】

そして、図2のE-E断面である図3(e)が示すように、美容パンツ1の表側において、その下方で下腿部を被覆する部分1 6には、幅が1 cm以上3 cm以下で長形の2本の高密度ポリエチレンシート2 j、2 j' と長形の1本の低密度ポリエチレンシート3 gとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されている。ここで、高密度ポリエチレンシート2 jは、繊維の横方向が長手方向と同一方向になっている。

【0025】

30

更に、大腿部を被覆する部分1 4の下端には、幅が1 cm以上3 cm以下で長形の高密度ポリエチレンシート2 gが長手方向を横方向として配されており、下腿部を被覆する部分1 6の上端には、図2のD-D断面である図3(d)が示すように、幅が1 cm以上3 cm以下で長形の高密度ポリエチレンシート2 hが長手方向を横方向として配されている。そして、これらの間には低密度ポリエチレンシート3 fが配され、図2のC-C断面である図3(c)が示すように、膝部を被覆する部分1 5が形成されている。ここで、高密度ポリエチレンシート2 g、2 hは、繊維の横方向が短手方向と同一方向になっている。

【0026】

一方、美容パンツ1の裏側において、下腿部を被覆する部分1 9には、幅が1 cm以上3 cm以下で長形の2本の高密度ポリエチレンシート2 k、2 k' と長形の1本の低密度ポリエチレンシート3 hとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されている。そして、大腿部を被覆する部分1 7の下端と下腿部を被覆する部分1 9の上端との間には、幅が1 cm以上3 cm以下で長形の高密度ポリエチレンシート2 iが長手方向を横方向として配されている。ここで、高密度ポリエチレンシート2 iは、繊維の横方向が短手方向と同一方向になっている。外側の高密度ポリエチレンシート2 jと高密度ポリエチレンシート2 kとの間には、低密度ポリエチレンシート3 g' が配されている。また、内側の高密度ポリエチレンシート2 jと高密度ポリエチレンシート2 kとの間には、低密度ポリエチレンシート3 g' が配されている。これら低密度ポリエチレンシート3 g'、3 g' は、表側の部分より、裏側の部分が長い形状である。

40

また、表側の下腿部を被覆する部分1 6から、裏側の下腿部を被覆する部分1 9の下端

50

には、踝部分をゴムで締め付ける緊締部 2 1 が形成されている。

【0027】

このようにして構成される美容パンツ 1 を装着した状態において、装着者が足を曲げたときの高密度ポリエチレンシート 2 (2 a, 2 b, ...) と低密度ポリエチレンシート 3 (3 a, 3 b ...) との伸縮は、以下のように行われる。

まず初めに、装着者が足を曲げると、美容パンツ 1 の表側において、腹部を被覆する部分 1 0 では、股間部を被覆する部分 1 1 の高密度ポリエチレンシート 2 a と、左右の端部を被覆する部分 2 2, 2 2 の高密度ポリエチレンシート 2 c, 2 c と、低密度ポリエチレンシート 3 a, 3 a とが着用者の前側からみて谷折りで折り曲げられることとなる。

【0028】

10

一方、美容パンツ 1 の裏側において、腰部を被覆する部分 1 2 では、臀部を被覆する部分 1 3 の高密度ポリエチレンシート 2 b と、高密度ポリエチレンシート 2 d, 2 d ... とが体型に沿って上下に引っ張られることになるが、高密度ポリエチレンシート 2 b は、繊維の横方向が長手方向と同一方向であり、高密度ポリエチレンシート 2 d, 2 d ... は、短手方向と同一方向であることから、体型に沿って引っ張られても破断しにくい構造になっている。更に、腰部を被覆する部分 1 2 には、低密度ポリエチレンシート 3 c, 3 c ... が、高密度ポリエチレンシート 2 b, 2 d ... の間に配されていることから、柔軟性に富むことで体型に沿って伸びることとなり、柔軟性が低い高密度ポリエチレンシート 2 b, 2 d ... を破断しにくくしている。

【0029】

20

次に、美容パンツ 1 の表側において、大腿部を被覆する部分 1 4 では、高密度ポリエチレンシート 2 e と低密度ポリエチレンシート 3 d とが足の軸方向と同じ方向に引っ張られることとなる。ここで、高密度ポリエチレンシート 2 e は、長手方向を足の軸方向と同じ方向とした状態で配されており、繊維の横方向も同一方向であることから、足の軸方向に引っ張られても破断しにくい構造になっている。また、交互配置による補強により、高密度ポリエチレンシート 2 e よりも引っ張り強度の劣る低密度ポリエチレンシート 3 d も、足の軸方向に引っ張られても破断しにくくなっている。このことは、美容パンツ 1 の裏側で大腿部を被覆する部分 1 7 においても同様である。

【0030】

30

また、美容パンツ 1 の表側において、下腿部を被覆する部分 1 6 でも、高密度ポリエチレンシート 2 j と低密度ポリエチレンシート 3 g とが足の軸方向と同じ方向に引っ張られることとなる。ここで、高密度ポリエチレンシート 2 j は、長手方向を足の軸方向と同じ方向とした状態で配されており、繊維の横方向も同一方向であることから、足の軸方向に引っ張られても破断しにくくなっている。それにより、高密度ポリエチレンシート 2 j よりも引っ張り強度の劣る低密度ポリエチレンシート 3 g についても、足の軸方向に引っ張られても破断しにくくなっている。このことは、美容パンツ 1 の裏側で下腿部を被覆する部分 1 9 においても同様である。

【0031】

次に、美容パンツ 1 の表側において、膝部を被覆する部分 1 5 では、高密度ポリエチレンシート 2 g, 2 h と、低密度ポリエチレンシート 3 f とが足の軸方向と同じ方向に引っ張られることとなる。この場合、高密度ポリエチレンシート 2 g, 2 h は短手方向に引っ張られるが、低密度ポリエチレンシート 3 f は、柔軟性に富むことで膝部の形状に沿って伸びることとなり、柔軟性が低い高密度ポリエチレンシート 2 g, 2 h を破断しにくくしている。

40

一方、美容パンツ 1 の裏側において、臍部を被覆する部分 1 8 では、高密度ポリエチレンシート 2 i が臍部の形状に沿って曲げられることとなる。

【0032】

上記の如く構成される美容パンツ 1 は、大腿部を被覆する部分 1 4 には、長形の低密度ポリエチレンシート 3 d, 3 d と長形の高密度ポリエチレンシート 2 e, 2 e ... とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置され、大腿部を被覆する部分 1

50

7には、長形の低密度ポリエチレンシート3e、3eと長形の高密度ポリエチレンシート2f、2f・・・とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることにより、動作が行い易い状態を保持しながら身体への追従性が高く、また動作による破断が防止される。更に、構造がシンプルであることから製作が容易であり、安価にすることが可能である。

【0033】

更に、下腿部を被覆する部分16には、長形の高密度ポリエチレンシート2j、2jと長形の低密度ポリエチレンシート3gとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置され、下腿部を被覆する部分19には、長形の高密度ポリエチレンシート2k、2kと長形の低密度ポリエチレンシート3hとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることにより、動作が行い易い状態を保持しながら身体への追従性が高く、また動作による破断が防止される。更に、構造がシンプルであることから製作が容易であり、安価にすることが可能である。

10

【0034】

他にも、ウェストラインを被覆する部分23及び下腿部を被覆する部分16、19には、緊締部21が形成されたことにより、美容パンツ1内で追従性の高い状態を保持することが可能であり、入浴後等に装着すれば、美容パンツ1内が湿潤して装着者の新陳代謝をあげることも可能である。

【0035】

また、大腿部を被覆する部分14における高密度ポリエチレンシート2eの短手方向の幅と、大腿部を被覆する部分17における高密度ポリエチレンシート2fの短手方向の幅とが、1cm以上3cm以下であることにより、高密度ポリエチレンシート2e、2fが更に破断しにくくなり、身体の動作に対してより一層追従性が高い状態を保持することが可能である。

20

【0036】

他にも、下腿部を被覆する部分16における高密度ポリエチレンシート2jの短手方向の幅と、下腿部を被覆する部分19における高密度ポリエチレンシート2kの短手方向の幅とが、1cm以上3cm以下であることにより、高密度ポリエチレンシート2j、2kが更に破断しにくくなり、身体の動作に対してより一層追従性が高い状態を保持することが可能である。

30

【0037】

また、内側には、オイルが塗布されることにより、美容パンツ1を装着した状態のまま自由な動作を行い、皮膚からオイルを吸収させることが可能となる。また、使用中はオイルが外部に漏れにくく安全であり、使用後の処理も簡単で衛生的である。他にも、装着するだけでオイルが下半身に塗られることとなる。

【0038】

なお、本発明にかかる美容パンツ1は、上記した実施の形態に何ら限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で、高密度ポリエチレンシートや低密度ポリエチレンシートの形状、大きさ、厚み等を適宜変更することができる。

【0039】

例えば、腰部を被覆する部分12だけでなく、腹部を被覆する部分10においても、幅が1cm以上3cm以下の高密度ポリエチレンシート2、2・・・を、股間部を被覆する部分11と左右の端部を被覆する部分22、22との間に亘って配置すると共に、これらの間に低密度ポリエチレンシート3、3・・・を配置しても良い。これにより、腰部を被覆する部分12と同様に、高密度ポリエチレンシート2は、体型に沿って引っ張られてもより一層破断しにくい構造になり、低密度ポリエチレンシート3が柔軟性に富むことで体型に沿って伸びることとなり、柔軟性が低い高密度ポリエチレンシート2を破断しにくくする。

40

【0040】

また、緊締部20、21は、腰や踝だけでなく、股間部を被覆する部分11から臀部を

50

被覆する部分 13 にかけての長手方向や、大腿部を被覆する部分 14, 17、下腿部を被覆する部分 16, 19 の外周にも、同様に形成しても良い。

更に、この緊締部 20, 21 が緊締する構造としては、ゴムのように引張力を発生させるものの他に、面ファスナーのように貼着する構造のものとしても良く、密封性の高い状態を保持することが可能なものであれば、適宜変更可能である。

【0041】

他にも、美容パンツ 1 の内面に塗布するオイルは、美容用オイルの他、マルチオイルやアロマオイル等のオイルや乳液、美容液であっても良い。

更に、オイルは、美容パンツ 1 の内面に予め塗布せずに、美容パンツ 1 を装着する前や後において身体に塗布しても良い。

10

【0042】

また、ウェストラインから大腿部までを覆う半ズボン形状の美容パンツ 1 において、大腿部を被覆する部分 14 の下端から大腿部を被覆する部分 17 の下端に亘って緊締部 21 を設けても良い。この場合、下腿部を除く下半身に対し、美容パンツ 1 内で密封性の高い状態を保持することが可能であり、入浴後等に装着すれば、美容パンツ 1 内が湿潤して装着者の新陳代謝をあげることや、美容オイルを塗布して皮膚からオイルを吸収させることが可能となる。

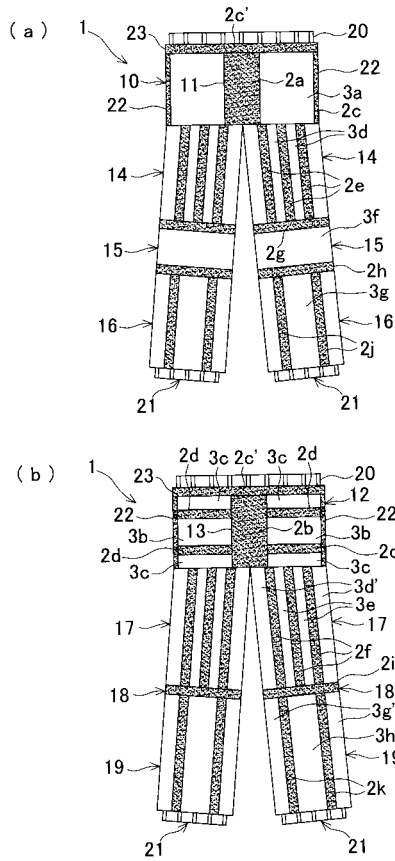
【符号の説明】

【0043】

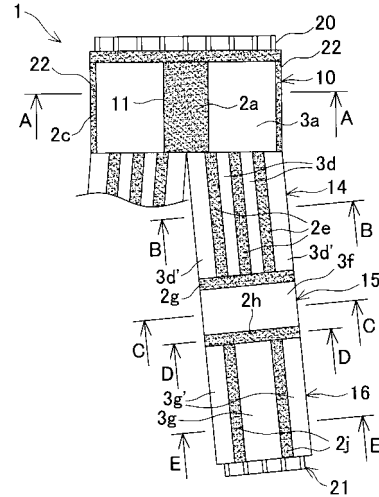
1・・・美容パンツ、2・・・高密度ポリエチレンシート、3・・・低密度ポリエチレンシート、10・・・腹部を被覆する部分、11・・・股間部を被覆する部分、12・・・腰部を被覆する部分、13・・・臀部を被覆する部分、14・・・大腿部を被覆する部分（表側）、15・・・膝部を被覆する部分（表側）、16・・・下腿部を被覆する部分（表側）、17・・・大腿部を被覆する部分（裏側）、18・・・臍部を被覆する部分、19・・・下腿部を被覆する部分（裏側）、20・・・緊締部、21・・・緊締部、22・・・端部を被覆する部分、23・・・ウェストラインを被覆する部分。

20

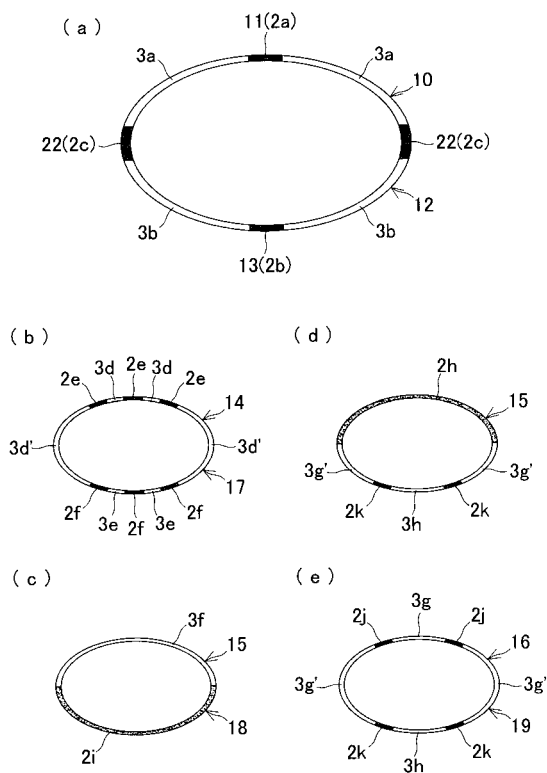
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【手続補正書】

【提出日】平成29年4月11日(2017.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

比重が0.910以上0.920未満である低密度ポリエチレンシートと、比重が0.920以上0.960以下である高密度ポリエチレンシートとを含んでおり、

大腿部を被覆する部分には、長形の前記低密度ポリエチレンシートと長形の前記高密度ポリエチレンシートとが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることを特徴とする美容パンツ。

【請求項2】

更に、下腿部を被覆する部分には、長形の前記高密度ポリエチレンシート及び長形の前記低密度ポリエチレンシートの長手方向とが、それらの長手方向を足の方向に向けた状態で、交互に配置されていることを特徴とする請求項1に記載の美容パンツ。

【請求項3】

前記下腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1cm以上3cm以下であることを特徴とする請求項2に記載の美容パンツ。

【請求項4】

ウェストラインを被覆する部分及び踝部を被覆する部分には、緊締部が形成されることを特徴とする請求項1乃至3の何れかに記載の美容パンツ。

【請求項5】

前記大腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1cm以上3cm以下であることを特徴とする請求項1乃至4の何れかに記載の美容パンツ。

【請求項6】

内側には、オイルが塗布されることを特徴とする請求項1乃至5の何れかに記載の美容パンツ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項3に記載された発明は、請求項2に記載の発明に加え、前記下腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1cm以上3cm以下であることを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項4に記載された発明は、請求項1乃至3の何れかに記載の発明に加え、ウェストラインを被覆する部分及び踝部を被覆する部分には、緊締部が形成されることを特徴とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項5に記載された発明は、請求項1乃至4の何れかに記載の発明に加え、前記大腿部を被覆する部分における前記高密度ポリエチレンシートの短手方向の幅が、1cm以上3cm以下であることを特徴とするものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項4に記載された発明は、美容パンツ内で密封性の高い状態を保持することが可能であり、入浴後等に装着すれば、美容パンツ内が湿潤して装着者の新陳代謝をあげることも可能である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項3又は5に記載された発明は、各シートが伸縮しても破断しにくくなり、身体の動作に対して追従性が高い状態を保持することが可能である。